

暮らしの安全をめざして

愛南町では、南海地震等の自然災害に備え、津波からの避難訓練など「いざという時、どう対応すべきなのか」について、各地域の自主防災会を中心に多様な訓練が行われています。

今号では、2年に1回、実施している「町総合防災訓練」の様子をお知らせし、今一度「暮らしの安全」について考えていただきましたと思います。

9時30分、四国沖を震源とする地震が発生、愛南町では震度6弱を観測との想定で行った「町総合防災訓練」(9/7)に、陸上自衛隊第14旅団、愛媛県警、宇和島海上保安部、愛南警察署、愛南消防署、東海、深浦、満倉の各地区住民や東海小学校教職員と児童、消防団など、約1,300名に参加していただきました。

主な訓練内容は、車椅子等の要援護者を介助しての避難、災害対策本部の設置、自衛隊による倒壊家屋からの救出や愛媛県警機動隊、愛媛県防災ヘリコプターなどによる負傷者の救出、県立南宇和病院や医師会の医師・看護師による負傷者の救護、東海小学校児童と消防団による火災の消火、四国電力発電車による電力供給訓練、宇和島海上保安部の巡視船「たかつき」「おいつかぜ」による救援物資の搬送や潜水士による救助、自衛隊と自主防災会による炊き出しなど、多種多様な訓練を行うことができました。また、東海小学校グラウンドには、地震体験車、降雨体験装置、土石流3D体験シアター、野外入浴セット、災害伝言ダイヤルの体験などの展示が設けられ、多くの住民が体験していました。

このほか、町防災訓練終了後、東海公民館で実施された研修会では、日本赤十字社愛媛県支部の高須賀紀子^{きこ}さんが、身の回りの品を使った応急手当法や高齢者の避難所でのリラクゼーションなど、自らの被災地での活動体験を交えながら指導していただきました。





災害対策本部の設置訓練



医療チームによる
負傷者救護



愛媛県警機動隊
による救助



陸上自衛隊による
家屋からの救出



宇和島海上保安部
による水難救助

町外の参加機関
愛媛県、愛媛県警、陸上自衛隊第
14旅団、自衛隊愛媛地方協力本
部、宇和島海上保安部、国土交通
省大洲河川国道事務所、松山地方
气象台、愛媛県防災航空事務所、
日本赤十字社愛媛県支部、(株)NTT
西日本四国、(株)NTTドコモ四国、
四国電力(株)宇和島支店、四国コ
カコーラボトリング(株)

